

～毎月10日は人権を考える日～

出典：「令和6年度 人権意識を高めるための作品集」からの人権作文
(西条市・西条市教育委員会 西条市人権教育協議会)

愛のある言葉で

西条市立西条南中学校 2年 杉原 朋
(杉原 朋さんが1年時に書いた人権作文)

今年の夏、四年に一度世界中が盛り上がるオリンピック・パラリンピックがパリで開催されました。しかし、多くのアスリートが華々しく活躍する裏で、悲しい出来事がニュースになりました。それは、SNSを使って選手や審判に対して誹謗中傷の言葉が投げつけられていたことです。一人や二人の話ではなく、多くのアスリートや運営に携わっている方が、その言葉により傷付けられました。このニュースを聞いて、私はどうしてそんなにも簡単に酷い言葉を全世界に発信することができるのだろうと不思議に思いました。

私が一番多く見かけたコメントは、男子バレー選手に対しての誹謗中傷でした。私自身が、バレー部に所属していることもあります。どの試合も応援していました。だからこそ、納得のできないコメントがたくさんありました。オリンピックが始まる前から、注目を浴びている選手が多かったこともあり、勝利まであと一点という場面で、ミスをした選手に対し、「大事なところで失敗したらダメでしょ。」というコメントがたくさんありました。でも、「攻めにいった結果だ。」という人もいます。両方の意見を見ていて、世の中にはバレー選手を経験したことがない人は山のようにいるということに気が付きました。人はそれぞれ、経験値も違えば考え方も違います。だからと言って、一生懸命頑張っている人に対して酷い言葉をかけていいという訳ではありません。他のスポーツや出来事でも同じです。その競技のことやその選手たちがどれだけ頑張ってきたかを知らないのに、簡単に人をけなしたり傷付けたりすることは間違っています。オリンピック選手も人間です。そして、オリンピックに出場している選手は誰よりも努力してきた人たちです。そして、誰にでも失敗があります。昔からアスリートに対して酷い言葉を投げつけるようなことがなかったわけではありません。現在、それがSNSで可視化され、ずっと残ってしまい本人に届いてしまうようになりました。有名人や著名人になら、誰が言ったかもすぐにはばれないし、酷い言葉をぶつけても大丈夫という誤った考えを持つ人も少なくありません。そういう考えをなくしていかなければ誹謗中傷による事件はなくなると思います。

他にも、女子ボクシングでは性別を巡る問題により攻撃の対象になってしまう選手がいました。私もその話を聞いて、戸籍上は女性でも体格が男性のままなので戦う相手が怖いと思ってしまうのは仕方がないことなのではと思いました。実際に、怖くなり棄権した選手もいたそうです。攻撃の対象となった選手は、インタビューで「私は誰に何と言われようと女よ。」と宣言していました。その選手もこれまでずっと誹謗中傷されながら必死に女性として戦ってきたんだと知りました。女子ボクシングの性別問題は、オリンピック前から議論があり、勝手に性別について公表されるなどプライバシーの侵害でも問題視されています。女性であることを否定するような考えがSNSで流れることで女性差別につながり、また、トランジエンダーの方に対する差別にもつながっています。その選手が、ボクシングをしながら、辛い思いをして頑張ってきたことを知ると、私はいろいろなことが難しく感じて周りの私たちがしっかりとと考えなければならないと感じました。

誰にでも文句を言ったり、意見を言ったりする権利はあります。でも、不特定多数の人に見られるSNSに書き込んで人を傷付けて何になるのか、私は疑問に感じます。この言葉を発したら、相手や周りの人がどう感じるのかを考えて言葉を選ぶ必要があると思います。ただ、客観的に見れば中傷になる言葉も、立場が違えば、正当な考え方だと思います。そんなことを考えると、より言葉を選ぶ必要があると感じました。言葉は便利な物ですが、時に刃となります。自分の口から出ている刃物を相手に向かたときに、どれくらい相手にダメージを与えるのか。それを考えて言葉を選ぶべきです。有名人でも誰でも、同じ人間だから、酷いことを言わされたら傷付きます。これからは、それを意識して言葉を使ったら嫌な気持ちになる人はいないかなど、言葉を見直して発信することが大切だと思いました。パリオリンピック・パラリンピックで誹謗中傷の対象になった選手には、これからも負けずに堂々と戦ってほしいと思いました。日本バレー選手協会の人が、「選手たちを愛のある言葉で応援してください。」と訴えかけていました。世界中から誹謗中傷の被害で苦しむ人がいなくなること、SNSや世界中の人たちが発信する言葉が愛のある言葉であふれることを願っています。

庄内公民館だより

2026 2 Vol.381

〒799-1313 西条市旦之上甲292-1

TEL・FAX : (0898) 66-1023

E-mail : shonai-k@saijo-city.jp

★ カラー版は、西条市役所ホームページのトップページ中段右側「ページID検索」に「0102255」と入力するとご覧いただけます。

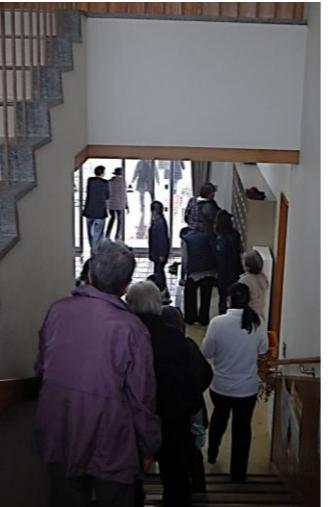
庄内地区人口【12月末現在】(先月比)
男 性 753人 -6人
女 性 927人 -2人
合 計 1,680人 -8人
世帯数 835戸 -4戸

庄内公民館大掃除・避難訓練



大掃除

避難訓練



12月21日(日)

年の瀬迫る休日、庄内公民館の大掃除にご協力くださった皆様ありがとうございました。

今日は避難訓練の後、西条市消防署の消防士の方に心肺蘇生法の手順とAEDの操作方法を教えていただきました。

「見る」と「実際に見てみる」では違います。いざという時の備えとして、心の準備と取るべき行動を学べる良い機会となりました。

軽スポーツ大会開催

11月27日(木)第3回目の軽スポーツ大会が開催されました。種目はモルックです。
今回は団体戦でゲームを行い、得点を競いました。
初めて挑戦される方が多かった今回の種目ですが、ミラクルも起こりましたね。
来年度もまたスポーツで交流を深め、楽しく身体を動かしましょう！



団体戦1位



団体戦2位



団体戦3位



団体戦4位



庄内放課後子ども教室

～クリスマスのお菓子づくり編～

12月25日(木)
庄内公民館にて、「クリスマスのお菓子づくり」を行いました。
食パンで土台を作ってから、ホイップクリームでデコレーションし、その上からトッピングをして、みんな個性的なクリスマスケーキを作りました。
作ったクリスマスケーキはみんなでお味しくいただきました。



2月の主な行事予定

日	曜	行 事
1	日	休館日
3	火	河北中学校(三芳・庄内・楠河) 小学校6年生対象学社連携事業 「本谷温泉・河之内浄水場見学」
5	木	三世代交流事業(1・2・3年生)「昔の遊び」
7	土	休館日
8	日	休館日
11	水	休館日
14	土	休館日
15	日	休館日
18	水	古紙の収集日
21	土	休館日
22	日	休館日
23	月	休館日
25	水	資源ゴミ(びん、ペットボトル、スプレー缶、カセット式ガスボンベ)の収集日
26	木	うたごえ公民館10:00～
28	土	休館日

【2月の休館日】

1、7、8、11、14、15、21、22、23
28

【2月の資源ゴミ収集日】

★古紙

18日(第3水曜日)

★びん、ペットボトル、スプレー缶、カセット式ガスボンベ

25日(第4水曜日)

※朝8時までにお出しください。

2月移動図書館 カワセミ号

★庄内公民館

2日 11日(水) 10:30～11:00

西条市立西条図書館(移動図書館カワセミ号)
住所 〒793-0030 西条市大町1590
開館時間 9:30～20:30
電話番号 0897-56-2668

令和8年度 各種手続きのご案内

◎公民館定期利用サークル・団体の登録について

令和8年度に公民館を定期利用されるサークル・団体は「公民館利用願い」の提出が必要です。

令和7年度に登録済みのサークル・団体も手続きをしてください。

なお、関係書類は事前に代表者の方にお渡します。

- ・提出期限:令和8年2月5日(水)
- ・提出書類:「公民館利用願い」他、
必要書類

◎問合せ・申請先:庄内公民館(66-1023)

うたごえ公民館♪

日 時: 2月26日(木) 10:00～

場 所: 庄内公民館 第一学習室

参 加 費: 無料

定 員: 20名

締 切: 2月13日(金)

申込先: 庄内公民館 ☎ 66-1023

◎申込み時曲のリクエスト可

☆結果報告☆

西条市少年武道錬成大会(空手道競技)

開催日: 令和7年11月2日(日)

(1)組手の部

◎小学3・4年生の部

第2位 松浦 出帆(庄内小学校3年生)

◎小学5・6年生の部

優 勝 井手 愛花(庄内小学校6年生)

(2)形の部

◎小学3・4年生の部

第3位 秋山 淳太(庄内小学校3年生)

◎小学5・6年生の部

第2位 井手 愛花(庄内小学校6年生)